

平成24年度

公立大学法人大阪市立大学の業務実績に関する評価結果

(年 度 評 価)

平成25年10月

大阪市公立大学法人評価委員会

目 次

評価にあたって	1
大阪市公立大学法人評価委員会名簿	1
項目別評価の基準	2
全体的評価	3
項目別評価	6
1 教育研究等の質の向上を達成するための措置	6
(1) 教育に関する措置	6
(2) 研究に関する措置	7
(3) 社会貢献に関する措置	7
(4) 国際化に関する措置	7
(5) 附属病院に関する措置	8
2 業務運営の改善及び効率化に関する措置	8
3 財務内容の改善に関する措置	9
4 自己点検及び評価並びに情報公開等に関する措置	9
5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	10

評価にあたって

大阪市公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定により、次のとおり、平成24年度の公立大学法人大阪市立大学の業務実績について評価を行いました。

評価については、法人の自律性、大学の教育・研究の特性に配慮しながら、法人から提出された業務実績報告書、関係資料の点検やヒアリング等に基づき、中期目標の達成に向けた中期計画の進行状況を確認するとともに、理事長兼学長より法人としての考え方をお聴きしました。

第二期中期目標期間に入り、法人の業務運営状況をわかりやすく社会に示すとともに、法人運営の改善・向上に資するよう、大項目評価に段階別評価を追加し、総合的・客観的評価に努めました。

大阪市公立大学法人評価委員会名簿

	氏 名	役 職 等
委 員 長	楠本 正一	大阪大学名誉教授
委 員 長 職務代理者	堀 正二	大阪府立成人病センター 総長
委 員	種田 ゆみこ	公認会計士
	岡野 祐子	関西学院大学法学部 教授
	音田 昌子	ジャーナリスト
	喜多 裕一	株式会社日本触媒顧問 神戸大学大学院工学研究科特命教授

項目別評価の基準

大項目評価

- S 中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある
(評価委員会が特に認める場合)
- A 中期計画の達成に向けて順調に進捗している
(すべて または)
- B 中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗している
(または の割合が9割以上)
- C 中期計画の達成に向けてはやや遅れている
(または の割合が9割未満)
- D 中期計画の達成のためには重大な改善事項がある
(評価委員会が特に認める場合)

() の判断基準は目安であり、法人の諸事情を勘案し、総合的に判断する。
法人が重点的に取り組んでいる事項にかかわる取組を考慮する。

小項目別評価

- 年度計画が特に進捗している
- ・達成度が計画を大幅に上回る場合
- ・当該年度中に予定より早期に実施した場合
- 年度計画が進捗している
- ・達成度が計画どおりと認められる場合
- ・当該年度中に実施した場合
- 年度計画がおおむね進捗している
- ・達成度がやや下回るもののおおむね計画どおりと認められる場合
- ・実施が翌年度の第1四半期にずれ込むが確実な実施が見込める場合
(次年度の年度計画に影響しない場合に限る)
- 年度計画の実施にあたって課題がある
- ・達成度が計画より大幅に下回る場合
- ・当該年度中に実施できなかった場合
- ・計画設定そのものに問題がある場合

全体的評価

平成24年度業務実績に係る項目別評価の主な取組事項は次章に掲げるとおりであるが、大項目5項目のうち、A評価（順調に進捗している）が1項目、B評価（おおむね順調に進捗している）が4項目で、中期計画は、全体としておおむね順調に進捗していると認められる。

引き続きガバナンス強化を図りながら、教育研究のさらなる発展のため、戦略的な法人・大学運営を行い、中期目標の達成に向けての取組を推進されることを期待する。

< 重点的取組事項について >

法人においては、第二期中期計画を策定する際に、重点三戦略として 都市大阪のシンクタンク、「都市科学」分野の教育・研究・社会貢献、専門性の高い社会人の育成、国際力の強化を掲げて、第一期中期目標期間で築いた基礎を発展させる取組を行っている。評価委員会としてもそれぞれの取組に注目し、平成24年度業務実績における重点三戦略の取組のうち、次の点を特筆する。

都市大阪のシンクタンク、「都市科学」分野の教育・研究・社会貢献

- ・人工光合成研究の推進による都市の次世代エネルギー研究への取組や、産学連携による健康科学研究、全学プロジェクトによる都市防災研究など、都市型総合大学の強みを活かした、都市科学分野での研究を推進した。
- ・大学の教育・研究活動等を通じた「資源」と「地域ニーズ」のマッチングを組織的に推進するため、新たに地域連携センターを設置した。

専門性の高い社会人の育成

- ・戦略的教育経費により、社会が必要とするような人材育成プロジェクトなど特色ある教育体制への支援が行われた。
- ・各学部・研究科において、社会人特別入試の実施や長期履修学生制度¹など、社会人が学びやすい環境整備の拡大を図った。

国際力の強化

- ・国際センター主催によるカナダ・ビクトリア大学、英国・オックスフォード大学への短期語学研修の実施や、短期語学研修についての単位認定等、学生の留学支援を実施した。
- ・優秀な留学生を戦略的に獲得するため「留学生計画」を策定した。
- ・高い英語力を有する学生を対象としたグローバルコミュニケーションコースの設置検討を行い、平成25年度より実施した。

¹長期履修学生制度：学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出た場合に、その計画的な履修を認めることができる制度。

< 重点的取組事項以外の主要な取組について >

定例休館日の廃止やラーニングコモンズ²の設置、ネットワーク環境の改善など、図書館機能を充実させ、利用者が拡大した。

附属病院において、手術室増設整備を完了し医療機能の充実を図るとともに、病棟浴室やトイレなどの整備を行い、患者サービスの向上を図った。

< 前年度評価委員会における主な指摘事項について >

前年度の主な指摘事項について、次のとおり確認した。

女性研究者支援の取組強化については、先行している他大学の事例を調査し、「女性研究者支援室」を設置するなど取組を推進するための体制整備を進めた。

理事長兼学長のガバナンス強化については、教員人事に係る人事委員会を設置し、人工光合成研究の次世代燃料の生成に関する研究推進のために、学長発議による人事採用を行うなどの成果があった。

< 主な指摘事項等 >

大学を取り巻く厳しい社会経済状況の中であって、以上のとおり中期計画に沿った取組を着実に推進していることは評価するが、引き続き積極的な取組を要する点は次のとおりである。

国際力の強化については、グローバルコミュニケーションコースの設置や留学生計画の策定、短期語学研修などに積極的に取り組まれているが、学生が留年せず、長期に留学できるよう、交流協定校との単位互換制度等の導入に努められたい。またグローバル人材の育成のために、アジア地域のみならず、欧米との学術・人事交流も引き続き推進されたい。

都市型の総合大学として、都市科学分野での研究に重点的に取り組んでいることは第一期中期目標期間より評価しているところである。具体的な将来の大阪の姿を展望しながら、引き続き取組を推進されるとともに、研究成果を分かりやすく市民に発信していくことにも努められたい。

女性研究者支援のために、女性研究者支援室を設置し、支援強化のための体制整備を行い、他大学とも連携して、取組を進めているが、さらに具体的な取組方針や目標を明確に示して、実行されたい。

² ラーニングコモンズ：学生が主体的に情報を収集し、かつ互いに討論しながら学習を深めると知的な交流を行うことができる図書館の新しい学習空間。

第二期中期目標期間に入り、人事委員会や大学改革室を設置するなど、理事長兼学長のガバナンス強化に努めており、その成果は高く評価できる。しかし、全学的な取組については、各学部・各研究科において、未だにばらつきが見受けられる。各学部・研究科の特徴を活かしながら、理事長兼学長のリーダーシップにより、統一的な取組ができるように努められたい。

項目別評価

1 教育研究等の質の向上を達成するための措置

大項目別評価	小項目数	評価	評価	評価	評価
B おおむね順調に進捗	77【41】	5【4】	68【34】	4【3】	0

【 】重点項目の内数

全学的及び各学部・研究科による教育研究等の質の向上に向けた取組が、中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗していると認められる。

(1) 教育に関する措置

主な取組事項

特色ある教育体制への支援

- ・戦略的教育経費により、社会が必要とするような人材育成プロジェクトなど特色ある教育体制への支援が行われた。

社会人教育

- ・各学部・研究科において、社会人特別入試の実施や長期履修学生制度など、社会人が学びやすい環境整備の拡大を図った。

図書館機能の充実

- ・定例休館日の廃止やラーニングコモنزの設置、ネットワーク環境の改善など、図書館機能を充実させ、利用者が拡大した。

意見・指摘事項

GPA制度³の活用

- ・平成25年度よりGPA基準の成績表記の導入を決定されたが、各学部により活用度合いにばらつきがあるため、引き続き全学的な取組として推進されたい。

³ GPA制度：Grade Point Average の略。学生の評価方法として、授業科目ごとの成績評価を5段階（A、B、C、D、E）で評価し、それぞれに対して4、3、2、1、0のグレードポイントを付与し、この単位当たり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

(2) 研究に関する措置

主な取組事項

都市科学分野での研究

- ・人工光合成研究の推進による都市の次世代エネルギー研究への取組や、産学連携による健康科学研究、全学プロジェクトによる都市防災研究など、都市型総合大学の強みを活かした、都市科学分野での研究を推進した。

意見・指摘事項

女性研究者支援

- ・女性研究者支援室による体制整備に加え、さらに具体的な取組方針や目標を明確に示し、引き続き取組強化に努められたい。

(3) 社会貢献に関する措置

主な取組事項

地域連携センターの設置

- ・大学の教育・研究活動等を通じた「資源」と「地域ニーズ」のマッチングを組織的に推進するため地域連携センターを設置した。

意見・指摘事項

地域小中学校における連携

- ・QOLプロモーター⁴育成事業などこれまで取り組んできた成果を活かし、引き続き地域の小中学校と連携した地域活性化事業を進められたい。

(4) 国際化に関する措置

主な取組事項

グローバル人材の育成

- ・国際センター主催によるカナダ・ビクトリア大学、英国・オックスフォード大学への短期語学研修の実施や、短期語学研修についての単位認定等、学生の留学支援を実施した。
- ・優秀な留学生を戦略的に獲得するため「留学生計画」を策定した。

⁴ QOL プロモーター：QOLはQuality of lifeの略。生活の質。全体的視点を持ち、各生活要素を統合・再構成する能力を有する専門職。

- ・高い英語力を有する学生を対象としたグローバルコミュニケーションコースの設置検討を行い、平成25年度より実施した。

意見・指摘事項

- ・交流協定校との単位互換制の導入など、学生が長期に留学しやすい環境整備に努められたい。

(5) 附属病院に関する措置

主な取組事項

医療機能の充実、患者サービスの向上

- ・手術室増設整備を完了し、医療機能の充実に図るとともに、病棟浴室やトイレなどの整備を行い、患者サービスの向上を図った。

意見・指摘事項

地域医療連携

- ・「がん地域連携クリティカルパス」について、5大がんのうち、胃がん・肺がん・肝がんについても、運用が開始できるよう取り組まれたい。

2 業務運営の改善及び効率化に関する措置

大項目別評価	小項目数	評価	評価	評価	評価
B おおむね順調に進捗	14	1	12	1	0

人事委員会の設置をはじめとした組織体制の整備など、業務運営の改善及び効率化に関する取組については、中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗していると認められる。

主な取組事項

理事長兼学長のガバナンス強化のための体制整備

- ・教員人事に係る人事委員会の設置や、大学改革室の設置など、理事長兼学長のガバナンス強化のため組織体制の整備を行った。

意見・指摘事項

全学的な推進体制について

- ・全学的な取組を要するものについては、各学部・研究科の特徴を活かしつつ、理事長兼学長のリーダーシップにより、統一的に取組を推進できるように努められたい。

3 財務内容の改善に関する措置

大項目別評価	小項目数	評価	評価	評価	評価
B おおむね順調に進捗	5	0	4	1	0

前年度を上回る外部資金を獲得するなど、財務内容の改善に関する取組は、中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗していると認められる。

小項目評価の集計ではC(やや遅れている)評価となるが、大項目全体を総合的に判断し、B(おおむね順調に進捗)評価とする。

主な取組事項

外部資金獲得のための支援体制

- ・科学研究費補助金執行管理業務を研究支援課に集約し、執行業務の円滑化・厳正化を図った。また前年度を上回る外部資金を獲得した。

意見・指摘事項

寄付金の獲得

- ・社会情勢等の影響もあり、寄付件数は年々減少しているが、募金活動の今後の進め方についてアクションプランを策定するなど、引き続き効果的な寄付金の獲得に努められたい。

4 自己点検及び評価並びに情報公開等に関する措置

大項目別評価	小項目数	評価	評価	評価	評価
A 順調に進捗	6	1	5	0	0

効果的な情報発信に努めるなど自己点検及び評価並びに情報公開等に関する取組については、中期計画の達成に向けて順調に進捗していると認められる。

主な取組事項

戦略的な広報活動

- ・大学のプレゼンスを高めるため、学長懇談会やプレスリリースなどの広報活動を効果的に行い、記事掲載件数が前年度を上回るなどの結果につながった。

ホームページによる情報発信

- ・WEB情報発信の強化のため、ホームページのリニューアルを行い、アクセス件数が前年度より約2割増加した。

意見・指摘事項

- ・引き続き積極的・効果的な広報活動を行うとともに、情報公開項目の充実を一層進められたい。

5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

大項目別評価	小項目数	評価	評価	評価	評価
B おおむね順調に進捗	11【2】	1	9【2】	1	0

【 2 】重点項目の内数

その他業務運営に関する重要目標を達成するための取組については、中期計画の達成に向けておおむね順調に進捗していると認められる。

主な取組事項

安全衛生の管理

- ・学生、教員共に健康診断受診率を向上させるとともに、喫煙に関する対策指針の策定や、救命救急講習など、安全衛生を推進する取組を行った。

意見・指摘事項

安全保障貿易管理体制

- ・説明会や研修会などの啓発活動を引き続き実施し、教員の安全保障貿易管理の必要性に対する意識向上を図られたい。

平成24年度業務実績報告書における小項目評価集計表

									小項目数	(参考) 対象となる 年度計画No	大項目別 評価
	評価委員会	法人 自己評価	評価委員会	法人 自己評価	評価委員会	法人 自己評価	評価委員会	法人 自己評価			
教育研究等の質の向上を達成するための措置	5[4]	5[4]	68[34]	67[34]	4[3]	5[3]	0	0	77[41]	No.1～60	B
業務運営の改善及び効率化に関する措置	1	1	12	11	1	2	0	0	14	No.61～69	B
財務内容の改善に関する措置	0	0	4	4	1	1	0	0	5	No.70～74	B
自己点検及び評価並びに情報公開等に関する措置	1	1	5	5	0	0	0	0	6	No.75～80	A
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	1	1	9[2]	9[2]	1	1	0	0	11[2]	No.81～89	B
合 計	8[4]	8[4]	98[36]	96[36]	7[3]	9[3]	0	0	113[43]		

[]重点項目の内数